

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： がん細胞誕生時の生体内反応の解明
2. 研究代表者： 昆 俊亮（東京理科大学 生命医科学研究所 准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、正常間質からがん間質へと遷移する「がん臨界」の分子実体を明らかにすることを目的としている。

フェーズ1では、マウス腸管より直接的に発がんするマウスモデルを用いて、超早期の発がんモデルのイメージングから、リンパ管内皮細胞では EndMT（Endothelial-to-Mesenchymal Transition）のマーカー分子の発現が増加することを見出した。フェーズ2の研究計画では、がんにおける揺らぎの仮説を実証し、がん微小環境を標的とした新たな治療法・予防法の開発に結びつく成果を期待する。

以上